

ピー オー ピー
P・O・Pカンパニー株式会社

異形状のぼり旗の量産加工を実施

レーザーカット機、センサー、インクジェットプリンタを導入



「異形状のぼり旗」の量産加工で、業界内での競争力を強化

小売業・飲食業の販促用品（のぼり旗・のれん等）の製造と資材（容器・箱・箸等）の企画販売を手がけるP・O・Pカンパニー株式会社。同社は、のぼり旗・のれん・幕等の企画販売を行うのぼり屋工房株式会社、販促資材・食品包装材を扱う株式会社パステム、製品の縫製加工を行うジャパンソーイングネットワーク株式会社とともに、P・O・Pカンパニーグループを形成している。のぼり旗業界の市場規模は約300億円で中小企業が多い。その中で同社とグループは、「食」に関するのぼり旗の数は日本最多規模を誇るとともに、多種多様な自社企画の既製品を揃えている。

全国に販売代理店があり、幅広いニーズに即座に対応できる。企画から製造、営業までをグループ内で行う一貫生産体制で小ロット・短納期に対応できるほか、別注品の提案も可能になる。こうした点が大きな強みといえる。同社では新たに「異形状のぼり旗」の量産加工に取り組む。のぼり旗は長方形のものがほとんどで、異形状のものは手作業で加工を行うしかなく、高コスト・長納期が課題となっていた。レーザーカット機等の機器を導入し、「異形状のぼり旗」の量産化を進めることで、業界内での競争力の強化を図る。

導入背景

量産化の実現で競争力を強化

「異形状のぼり旗」は過去にも受注があり、既製品（Rのぼり・Pバナー）と別注品を手作業で製造している。機械化が実現すれば生産性が高くなり、低コスト・短納期に対応できる。同社は業界のリーディングカンパニーとして、他社に先駆けて「異形状のぼり旗」の多品種・量産化に取り組み、業界内での競争力の強化を目指す。その目的でレーザーカット機等の機器を導入した。

実施内容

レーザーカット機の調整に苦心

イラストレーターで作成したデータを転送し、最新のインクジェットプリンタで印刷を行う。同時に裁断パターンをデータ化したQRコードも印刷する。布を自動搬送し、QRコードを読み取り、レーザーカット機で裁断する。元来布を裁断する機械ではないため、布が焦げないようにするための出力調整や、裁断誤差内に収まるように布の伸び縮みを検知できるようにするために時間を要した。

事業成果

機械化で量産化・短納期が可能

平成29年3月から本格的に稼働を開始。機械化で「異形状のぼり旗」の月産数万枚の量産化、小ロットの短納期が可能になった。異形状の既製品見本をサイトやカタログに掲載し、受注に結び付けている。全体から見たシェアはまだ少ないが、ユーザーの感触は良く、徐々に受注も増えている。また、のぼり旗と一緒に付随製品（部材・横幕等）も受注するメリットが生まれている。



企業から一言

完全自動化の実現と生産性の向上を図り、シェアの拡大を

「異形状のぼり旗」の製造において、印刷から搬送、裁断までの工程がほぼ自動化できました。手作業による加工よりも生産性が高くなり、量産化と短納期に対応できます。お客様からも取り組みや製品を「面白い」と評価していただいています。大手の飲食チェーンやコンビニで使用されれば需要の拡

大に繋がるため、アプローチを行っているところです。製造工程がまだ完全自動化に至っていないので、その実現と生産性の向上が今後の目標。もっと「異形状のぼり旗」のシェア拡大を進めていきたいですね。

取締役副社長 松澤 元太



事業者の概要

代表者名	玄馬 宏昭
設立年月	平成15年6月
所在地	〒702-8024 岡山県岡山市南区浦安南町220-1
TEL/FAX	TEL.086-261-2100 FAX.086-261-1110
URL	http://popcompany.xsrv.jp/
資本金額	900万円
従業員数	150人
業種	販促用品の企画・製造・販売
事業計画名	「異形状のぼり旗」の量産加工による競争力強化